

さいたまシルバー



迎春



Contents

- 2 理事長挨拶
- 3 市長挨拶
- 4 就業紹介（設立 20 周年記念誌から）
- 8 社会参加（設立 20 周年記念誌から）
- 10 各種講習・研修
- 11 就業会員の声
- 12 お客様の声
- 14 女子会活動のお知らせ・プチ歳時記
- 14 親睦互助会
- 15 安全だより
- 16 事務局より・編集後記

荒川公園から望む新都心

公益社団法人 **さいたま市シルバー人材センター**
〒330-0801

埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目213番地1
さいたま市大宮ふれあい福祉センター内

Tel : 048-669-0303

Fax : 048-669-0305

<https://saitama-sjc.or.jp/>

さいたま市シルバー

検索



新年のご挨拶



公益社団法人
さいたま市シルバー人材センター
理事長 佐伯 鋼兵

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様ならびに関係者の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当センター事業運営につきまして、格別のご支援とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

さて、一昨年来の新型コロナウイルス感染症の流行が続いており、長期にわたり緊急事態宣言が発出されるなど、社会に大きな不安が広がっています。一方でワクチンの効果が出ているのか、12月初めの時点では感染者数は第5波の時期と比べ大幅に改善しているようです。第6波に備え、今後とも手指消毒、身体的距離の確保など基本的な感染対策の徹底を改めてお願いいたします。

このような社会状況下で、令和3年度上半期の当センターの事業実績は、契約金額前年比104.9%と、会員の皆様のご協力もあり、前年度に比べれば持ち直しているものの、新型コロナウイルス感染拡大以前と比べると、いまだ回復には至っておりません。新型コロナウイルス感染症の流行が一日も早く終息することを願うとともに、役職員一丸となって会員

の皆様の就業機会の確保に努めてまいります。

また、本年度は昨年10月1日に、設立20周年を迎えました。新型コロナウイルス感染症のため、大規模なイベント等は実施できませんでしたが、この節目となる記念すべき年を皆様と共に祝うことができたことは、感謝と喜びに堪えません。

今後も当センターが、地域社会において多くの方に愛される団体であり続けられるよう、役職員一同尽力をいたしますので、会員の皆様ならびに関係者の皆様方には、より一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

加えて来年度は第2次中期計画の最終年度となります。第2次中期計画の進捗状況・反省を踏まえ、第3次中期計画の策定に向けて検討を重ねてまいります。

結びになりますが、会員の皆様ならびにご家族の皆様の皆様のご健勝とご活躍を願い、また新しい年が皆様にとって幸多き素晴らしい一年となりますことを祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



さいたま市長 清水 勇人

新年、明けましておめでとうございます。

シルバー人材センター会員の皆様をはじめ、関係者の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。また、日頃からさいたま市シルバー人材センターの皆様方には、市政全般にわたる格別の御協力と御支援を賜り、感謝と御礼を申し上げます。

さて、本市の総人口・高齢者人口は増加の一途をたどっており、令和元年度には高齢者人口が30万人を突破しました。今後、高齢化率は急激に増加すると予想されており、いわゆる「団塊の世代」が全て75歳以上となる令和7（2025）年には、市民の約4人に1人が高齢者に、「団塊ジュニア」と呼ばれる世代が65歳以上となる令和22年（2040）年には、市民の約3人に1人が高齢者となることが見込まれています。

こうした将来を見据えた取り組みとして、本市では、令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間とする「さいたまいきいき長寿応援プラン2023」を策定いたしました。

高齢期を迎えても、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な

主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて、誰もが生き生きと長生きして暮らせる地域共生社会の実現を目指します。

本市には、健康状態がよく、積極的に外出し、趣味や運動、就労など、意欲的に活動されている高齢者が多くいます。本市の活力を維持、発展させていくためには、こうした元気な方々が、地域づくりをはじめとした、より幅広い分野で活躍することで、支え合いの環境が醸成されていくと考えております。

シルバー人材センターにおかれましては、元気な高齢者の活躍の場を増やすためにも、就業先の開拓や会員増強などに引き続き注力していただくとともに、会員の皆様には、これからも、長年培ってこられた技術や経験を多方面で活かしていただくことを期待しております。

最後になりますが、新しい年が会員の皆様方にとって健康で幸多き素晴らしい1年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、シルバー人材センターの益々の発展を御祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

● 就業紹介

技術群

多くの会員は、様々な資格や専門知識を持っています。さらに、これまでの経験を加えた特技や指導力を活用して就業しています。職群の班として、学習教室班や運転班があります。

パソコンサポート
運搬車の運転
執筆・翻訳
など



運転班グループ長
井村 詩

主に大型の脚立や刈払機、植木剪定作業などに伴う枝や落ち葉などの残滓を運搬しています。荷台に山盛りにならないよう、はみ出しや高さ制限にも気を付け、安全に注意して就業しています。

技能群

現役時代または退職後に身につけた職人技術と経験で、ものづくりに関する様々な仕事をこなします。職群の班として、襖班や植木班があります。

大工・塗装等の仕事
植木の剪定
襖・障子張り
修繕
各種加工・製作
など



襖班グループ長
八津尾 正

現役時代に趣味で描いた禅画や書を表装したいと思い、定年退職後に技術専門学校に通い基礎から勉強しました。シルバーに入会後はこの技術を活かし、プロ意識をもって襖・障子張りに専念してきました。



事務群

一般的な事務から筆耕、調査事務等まで、デスクワーク全般を行っています。職群の班として筆耕班があります。

伝票整理
毛筆・硬筆筆耕
受付事務
調査・集計事務
など



筆耕班

波形 純子

新潟より一家で7年前にさいたま市に移り、賞状書士の師範位を活かし、シルバー人材センターで筆耕に従事しています。賞状や証書は贈る側にとっても、受ける側にとっても大変意義あるもの。賞状や証書は壁に掛けられることもあるので、精一杯心を込めた正しい文字を書くよう心掛けています。

管理群

屋内・屋外施設の管理や確認、物品の管理などを行っています。職群の班として、管理・清掃班や駐輪場・駐車場班があります。

駐輪場管理
駐車場管理
建物管理
商品・資材等管理
在庫管理
など



公民館管理

渡邊 修

4年前から中央区大戸公民館の夜間、日曜の利用者対応、庁舎管理などの仕事をしています。少年の頃、ボーイスカウトで奉仕的精神を学び、震災時などでボランティア活動をしました。公務員として働いたノウハウを地域へ恩返しをしたいと思っています。シルバーの仕事もその延長上です。

折衝外交群

地域を中心に、必要な情報を集めたり、営業の支援などを行っています。

検針
販売
外交・募集
配達・集配
営業

など



あかしやの森
販売リーダー
中野 恵子

障害者支援施設で作られたパン・ピザ・カレー等の軽食、菓子、野菜等の販売をしています。接客が好きで対話することに生きがいを感じています。健康維持のため、高齢になっても就業することをおすすめします。

一般作業群

屋内及び屋外での一般的な軽作業で、センターで最も多く受注する業種です。職群の班として内職班、除草・草刈班、管理・清掃班があります。

屋内・屋外清掃
除草・草刈り
農作業
荷造・運搬作業
包装・梱包作業
調理・食品関係作業
各種検査・整理作業
内職

など



除草・草刈班
グループ長
佐藤 作治

自営の貴金属加工業から12年前に会員となりました。除草・草刈りが天職かと思えます。お客様の感謝と満足感が喜び。明るく挨拶・会話・思いやり・仲間を大切に、夫婦共に健康で、人生楽しもうと思っています。

サービス群

個人宅や事業所、施設などへ伺い、様々な活動・サービスを行っています。職群の班として福祉・家事援助サービス班があります。

安全指導サービス
広報関連サービス
介護・生活支援
家事援助（掃除・買物）
接待・来客対応
など



福祉・家事援助
サービス
池田 久榮

個人宅の家事サービスに従事しています。高級な家具類が多く、丁寧に行っています。応接室やリビング、トイレやお風呂場等で、それぞれ掃除の仕方を工夫し、お客様に喜んでいただけるよう心掛けています。



福祉・家事援助
サービス
稲垣 貞子

2人でコンビを組み家事援助をしています。仕事先は90歳代の高齢ご夫妻のお宅。行くと喜んでくれて話が弾みます。声掛け・傾聴という介護法がありますが、部屋を綺麗にしながらそれを実践しています。

独白事業

シルバー人材センターが事業主となって行っている就業もあります。学習教室班があります。

学習指導
パソコン教室
刃物研ぎ
手芸
など



学習教室班
望月 健次

少人数制学習教室の特徴を生かして、児童・生徒の性格や能力に合わせたカリキュラムを編成しています。特に復習を重点に、学校での授業に遅れがないように注意しています。



● 社会参加

傾聴ボランティア

センターが実施する傾聴ボランティア養成講座(40時間)を受講した会員で、行政、介護福祉団体・関係者などの紹介及び利用者(高齢者など)の依頼に応じて高齢者の施設や個人宅などを訪問して、お話し相手となって、寄り添う活動を2006年から行っています。

地域住民とのつながりやふれあいを大切に、活動を通して地域の福祉向上の一助ともなり、利用者や活動会員共々、また元気と勇気をもたらす活動です。



表彰の履歴

- ・平成28年(2016年)11月 さいたま市長賞(市社会福祉大会-市民会館おおみや)
- ・平成29年(2017年)11月 厚生労働大臣賞(全国社会福祉大会-メルパーク東京)
- ・令和元年(2019年)9月 内閣府「ボランティアの模範活動賞」
- ・その他、訪問施設より感謝状など約10件



傾聴ボランティア「あゆみ」

代表 武藤 圭子

シルバー人材センターの支援のもと、「傾聴ボランティアあゆみ」の活動16年目となります。私自身、平成19年に入会し、施設や個人宅訪問などを通して、利用者さんから多くの事を教わりました。また、多くの会員仲間との交流やつながりのお陰で、日頃の私生活も有意義、かつ楽しんでおります。

親睦行事やスキルアップ講座にも参加し、皆さんと一緒に地域活動ができる楽しみがあり、元気に、笑顔や感謝の気持ちを忘れず、希望を持って活動が続けられることを願っています。



ボランティア訪問先
介護老人保健施設
「あさがお」(緑区大崎)
施設長 堀内 由美子 様

貴社会貢献事業「傾聴ボランティアあゆみ」さんには、当施設が平成20年4月の開設後、まもなくおいでいただき、約11年が経過しました。傾聴活動のため何十時間も研修を受けなければいけないとお聞きしました。大変なご苦労だったと思いますが、熱心に利用者のお話を聴いていらっしゃる姿をよくお見かけしました。顔なじみとなる方も多い中、おいでいただける日を施設利用者、職員一同楽しみにしております。「傾聴あゆみ」の皆様のみますのご健勝とご発展を心よりお祈りいたします。

ふれあい教室事業

会員と年少者との世代間交流を目的として、夏休みにはデイキャンプ、冬休みには書き初め大会を行っています。

デイキャンプ



書き初め大会



ライフサポート事業

市内の単身高齢者や高齢者のみの世帯の方などを対象に、自動車による外出支援を行っています。



各種講習・研修

次のような講習や研修が、本年度10月までに実施されました。

会員講習・研修

当センター主催の会員を対象とした技能及び資質向上を図る講習や研修です。

① 刈払機取扱研修

7月20日 15人参加

会場・七里総合公園



② 救命講習

1回目

9月13日 14人参加

会場・大宮ふれあい福祉センター

2回目

9月21日 14人参加

会場・大宮ふれあい福祉センター



③ パソコン講習

初めてのパソコン

10月11～13日 9人参加

会場・高齢者生きがい活動センター

④ 植木職人養成研修

10月15～19日 15人参加

座学 会場・浦和事務所

実地 会場・市内植木剪定現場



中止・延期となった講習・研修

○ パソコン3講習…中止

・ワード入門 7月7～9日

・ワード入門 8月18～20日

・エクセル入門 9月27～29日

○ コンプライアンス研修…9月予定を延期

○ 接遇研修…9月予定を延期

○ 傾聴ボランティア養成講座…10月に延期

研修の実施に当たっては、手指消毒、マスクの着用、身体的距離の確保など基本的な感染対策をするとともに、定員を減らすなどして、感染症対策に配慮して実施しています。

就業会員の声

チームでつくる納得の仕事 お客様の声が最大の喜び！

緑区三室にある三室シルバーワークプラザで襖・障子張りの就業をされている班長、飯島孝さんにお話を伺いました。

60歳で定年を迎え、2年後近所で話を聞き、シルバー会員になったそうです。壁紙製造のメーカーに勤務していたことから襖・障子張りに携わり、現在に至っています。顧客宅に行き、襖・障子を引き取り、作業場で張り替えて夕方に納品するというので、担当は浦和・緑・桜区とのこと。週4日、繁忙期の9月から12月は朝7時半位から夕方17時、他の月は10時から15時までの就業だそうです。

「張り替え後のきれいな襖を見た時のお客様の言葉が最大の喜び」とのこと。受注は口コミ



浦和会員 飯島孝さん（写真前列 向かって左）でも来るそうです。

作業は4人体制のため「各自健康には気を付けている」「班員の平均年齢が73歳となり運搬時の車両の運転は年齢の若い方に依頼するなど分担している」そうです。また、戸襖など大きなものを2階から降ろす際、壁などにぶつけないよう、また、コロナ感染症対策として消毒などにも十分注意を払っているとのこと。

「チームでの作業のため、欠員が出ると全体に支障が出てしまう」また「一人前になるのに時間を要することが課題」とお話されていました。飯島さんを中心に皆さんが楽しく作業されている姿が印象的でした。（取材・吉川編集委員）

就業会員の声

経験豊富で努力家 まだまだ現役 85 歳！

韓国の方ですが、「お父さんが早稲田大学を卒業、日本式の教育を受けた」ということですから子どもの頃から日本には馴染んでいるそうです。

通訳をはじめ、流通関係の企業、韓国食材を扱う事業などいくつかのお仕事を経験されました。頭部のがんが見つかり、韓国式の治療法で奇跡的に治ったということで、この経験から整体の勉強をはじめ、70歳で整体師の免状を取得したという努力家です。

今も「本業は整体師、できれば整体の仕事をしたい」とおっしゃいます。現在85歳、区役所でシルバー人材センターを紹介されて登録、3年前からマンションの清掃の仕事をしています。担当するマンションは2か所、通路、自転車置き場、エレベータ内などもモップで拭き掃除、「バケツの水を運ぶのに力も要る。あと何

与野会員 ペ・オンセンさん

年できるかわからない」と言いながら元気そうな笑顔を見せます。

お1人暮らし、人参酒やキムチ、桑の葉茶など体に良さそうな物を手作りしていて、元気のみなもとだそうです。（取材・馬場編集委員）



就業会員の声

夫婦で神社掃除 18 年 米寿を迎え益々元気に就業中

ご夫婦で「武州岩槻総鎮守 久伊豆神社」境内の掃除等に従事して 18 年、米寿を迎え、お 2 人とも益々元気に就業されています。

神社は約 1500 年の歴史があり、平安絵巻ながらの春・秋例大祭や節分祭、七五三祭など、年間 10 のお祭りがあり、多くの人々が参拝に訪れ、岩槻のパワースポットとなっています。

一雄さんは静岡出身で東京で大工を 50 年、生まれも育ちも東京の奥様・トモ子さんと結ばれ、66 歳の時、岩槻に自分の手で住まいを作り、引っ越したそうです。神社でのお 2 人の業務は本殿周り、神楽殿や「くじゃく舎」のある広場、神苑（水を使わずに石・砂により山水を表現した枯山水）、そしてお墓等の掃き掃除です。また、お祭り前には準備作業も行うそうです。年々作業が大変になり、引退を申し出たそうですが、器用で丁寧な仕事ぶりから、元気の続く限り続けて欲しいとお願いされたそうです。一雄さん

岩槻会員

小澤一雄さん・トモ子さんご夫婦は、「仕事に丁寧に集中することで、心も清められ、健康と元気をいただいています」と仕事をする充実感を話されました。また、トモ子さんは「祈祷・参拝の方との会話で、気持ちも若返ります」と笑顔で話されました。

一雄さんはグラウンドゴルフで週 2 回、仲間と交流し、大きな大会にも参加されています。4 月の大会で優勝、6 月は 3 位入賞とのこと。ご夫婦元気で仲良く、楽しんで仕事をされている姿は、同じシルバー会員としてうらやましく感じました。（取材・菅野編集委員）



お客様の声

コロナ禍の中 学生支援を工夫して

さいたま市桜区下大久保に位置している埼玉大学生生活協同組合の食堂部店長、棚橋哲也様からお話を伺いました。

2017 年に着任され、第一食堂と第二食堂の 2 カ所を担当されています。シルバー人材センターについてもそのまま引き継がれたそうです。新聞に報道されましたが、コロナ禍の影響を受けた学生さんのために、支援事業の一環として日替わり 100 円メニューを考案し、令和 3 年 10 月 18 日から翌年 2 月 8 日の期間で提供しているそうです。現在もコロナ禍の影響で学生さんの利用は 4 割未満だそうで、早く以前の活気が戻ってほしいとおっしゃっていました。

シルバー会員の仕事は、ホールを中心に清掃、後かたづけ等の軽作業及び混雑時の空席への誘導などで、就業時間は 12 時から 13 時 30 分。

期間は新学期・新入生の入学時等の時期にお願いしているそうです。また、就業する会員に

埼玉大学生生活協同組合 様

については「毎年同じ方に来てもらっています。作業内容を熟知されていますし、学生さんとのトラブルもありません。誠実な仕事ぶりで安心してお任せしています」とのことです。

お話を聞きながら、シルバー会員は学生さんとの触れ合いも多く、若いフレッシュな感覚を肌で感じながらのお仕事のようで、うらやましく感じました。

（取材・吉川編集委員）



お客様の声

『らそ = 絆』を大切に 人間性豊かな子供を育てる

静かな住宅街の一角にある3階建ての建物に園長伊藤美幸さんと副園長飯島和喜さんをお訪ねしました。

「園名の『らそ』は耳慣れない言葉ですが、スペイン語で『絆』を意味します。園の保育理念はその名の通り、親と子・職員と子・園と地域を含めた子育て世代の皆さん等、諸所の絆を深め社会が連携し豊かな人間性をもった子供を育てることにあります」とのことです。

「1歳児から5歳児までの80名が、いつでも、どこでも、お友達同士仲良く、笑顔が絶えないように心掛けて保育されています。また、年齢に応じた生活指導、体育指導、文字指導も行われています。特筆すべきは、市街地にありながら未舗装で約400坪の運動場と約90坪の家庭菜園を園庭として確保していることです。園児達は思い切り走り回ることができますし、自分

社会福祉法人明和会 らそ保育園 様
達で育てた野菜を収穫し、給食でいただくことができます」園長先生のお話を伺っていると子供達の歓声が聞こえてくるようでした。

「この園庭は裸地のため、職員が草取りをしていましたが手が回らず、今回シルバーさんに除草・清掃作業をお願いしました。大変よくやってくれて助かっています。従来からシルバーさんには保育園内清掃をお願いしており、その仕事ぶりは承知していました」とうれしい評価を頂きました。
(取材・後藤編集委員)



お客様の声

歴史や多くの文化財を持ち 地域から敬われる名刹

円乗院は中央区のほぼ真ん中、与野本町駅西口より徒歩7分の場所に位置しています。鎌倉時代の武将、畠山重忠由来の名刹で、与野七福神のひとつ大黒天も祀られています。かつてはJRの与野駅を降りると遠く円乗院が望まれたそうです。今も美しくそびえる多宝塔が近隣のランドマークになっています。

安養山の扁額のかかった山門（これも江戸前期のもの）を抜けると正面に本堂、その右手が住職さんご一家の住む庫裡になっています。いただいた円乗院の案内には、畠山重忠が今の桜区道場に堂宇を建立、慶長年間（1596年～1615年）に現在の地に移されたとありました。

シルバー会員の担当する仕事は、この境内の清掃です。就業時間は土曜と日曜の朝8時半から11時半までの3時間。仕事のように住職さんにお聞きすると「シルバーさんをお願いし

真言宗智山派 円乗院 様
てもう10年です。大変よくやってくれています。今の方も几帳面で丁寧な仕事をされています」「業者さんも入るのですが『やる所がないよ』と言われることがあります」とおっしゃっていました。会員への高評価は、歴史ある円乗院さんに愛着を持ち、誇りを持ってお仕事をしている証ではないかと感じました。

(取材・馬場編集委員)



女子会活動のお知らせ

今年度も新型コロナウイルスの影響で、女子会の活動の大部分を自粛することとなりました。新しい年の初めにあたり、今年こそは女子会が滞りなく開催されるようお願いしております。

♡ 各事務所、今後の予定 ♡

大宮事務所 1月か2月に実施予定

浦和事務所 2月か3月に実施予定

与野事務所 1月20日(木)13:30～

ほめられスイーツ第3弾マドレーヌ作り

岩槻事務所 3月までに実施予定

女性会員であればどなたでも参加できますので、ぜひお気軽にご参加ください。

待ってま～す



～プチ歳時記～ 1月15日小正月の話

昔から小正月には豊作を祈り「餅花」を飾る習わしがあります。この日は女正月とも言われ、暮れからお正月にかけて忙しく働いた女性がゆっくり休める日とも言われているようです。飾るものは餅以外に稲花や野菜、果物などで、地域によって異なります。飾った後は、餅花の入った味噌汁やお汁粉にして食べると息災で過ごせるそうです。作り方は簡単です。

(作り方) 切り餅を細かく切ってレンジで柔らかくし片栗粉をつけて枝に巻き付ける。(赤色は食紅や小豆、黄色はトウモロコシなど、枝はミズキ、ナラ、ヤナギ、梅、ネコヤナギなど)



感染対策をして4支部交流 グラウンドゴルフ大会実施

親睦互助会は浦和、大宮、与野、岩槻の4支部に分かれてそれぞれ活動しております。本年度はコロナ禍で各支部共に活動が思うに任せず、総会等も通常の形式を避け、事業計画や予算計画、実績報告等を書面決議に替えたり、実施できない事業に替えてマスクを配布する等、工夫して活動しております。

そんな中、毎年恒例の4支部交流グラウンドゴルフ大会は、今年度5月の開催を一度は諦めましたが、大宮支部「ふれあい会」のご尽力により緊急事態宣言が解除された10月21日(木)に感染対策を取りながら見沼区堀崎公園グラウンドで実施しました。4支部交流グラウンドゴルフ大会は、各支部から20名ずつ合計80名の会員が集い、個人戦と選抜代表選手5名の総合成績を競う支部対抗戦があり、秋の青

親睦互助会

親睦互助会連合会 会長 畑 佳一朗
空のもと競技を楽しみました。今年は、支部対抗戦は大宮支部が、個人戦は与野支部 小林浩夫会員がスコア 65 で優勝しました。



安全だより

令和3年度上半期事故状況

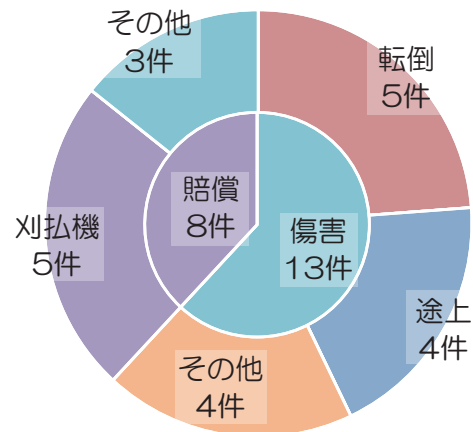
令和3年度上半期事故状況は右記のとおりです。前年度と比較して、賠償事故は減少しましたが、傷害事故は増加しています。

傷害事故に関しては、就業中の転倒によるケガが5件発生しています。また、4件の途上の事故も転倒によるものとなっています。加齢による体力の衰えを認識し、往復途上や作業には十分注意しましょう。

賠償事故に関しては、刈払機による飛び石等の事故が相変わらず4件と多くなっており、刈払機事故への対策が急務となっています。

今後とも安全委員会を中心に事故撲滅に向けて取り組んでまいりますので、会員皆様のご協力をお願いします。

	傷害	賠償	合計
当年度	13	8	21
前年同月	9	11	20
増減	+4	△3	+1

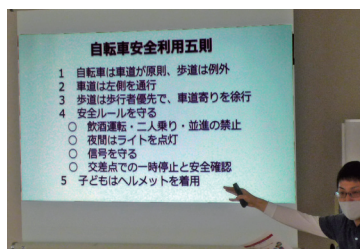


高齢者自転車交通安全講習会

令和3年11月30日（火）さいたま市高齢者生きがい活動センターにおいて、一般財団法人日本交通安全教育普及協会のご協力により、高齢者自転車交通安全講習会を開催しまし

た。午前8名、午後9名の会員さんが参加しました。

自転車に関する交通ルールや交通事故の現状の説明や、危険予測と安全確認の重要性について自転車シミュレータを活用した危険予測学習を体験しました。また、体力の状態を確認・維持するための健康体操や簡易診断の体験学習も行われ、安全に対する意識を高める講習会となりました。



令和3年度・令和4年度

さいたま市シルバー人材センター安全就業スローガン

- ・ 大丈夫と 思う過信が 事故のもと
- ・ 焦るな！ 急ぐな！ 手を抜くな！ ゆるむ心に潜む事故



事務局より

記念品の配布について

当センターでは、設立 20 周年という節目の年を迎えるにあたり、会員の皆さまのご協力、ご支援に感謝の気持ちを込めて、ささやかながら記念品として置時計を用意しました。

お受け取りいただいていない会員の方は最寄りの事務所をお訪ねください。



造花は含まれません。水を入れると故障します。

記念誌の発行について

設立 20 周年記念誌が完成しました。残念ながらすべての会員にお配りすることはできませんが、ご覧になりたい方は、さいたま市シルバー人材センター各事務所にご用意しておりますので、最寄りの事務所をお訪ねください。

また、インターネットをご覧になれる方は当センターホームページでも公開する予定ですので、こちらでご覧ください。



アドレス <https://saitama-sjc.or.jp/>



お問合せ先



本部事務所	大宮区土手町1-213-1	048-669-0303
浦和事務所	南区南浦和3-46-16	048-884-5111
大宮事務所	北区植竹町1-593-1	048-667-1150
与野事務所	中央区本町東2-15-12	048-852-8923
岩槻事務所	岩槻区仲町1-14-54	048-756-7790

編集後記

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。今年こそは、以前のような平穏な日常生活が戻りますよう、ご祈念申し上げます。

当センター設立 20 周年を機に、編集委員会では会報をより読みやすく、皆様により興味を持って見ていただけるよう、リニューアルに着手しています。

本号から試行に入っていますが、皆様の感想やご要望（新企画）、ご意見等がありましたら、編集委員会（本部事務所、会報「さいたまシルバー」担当）までお寄せいただければ幸いです。お待ちしております。

表紙

さいたま新都心

埼玉の中心となる新しい都心をつくり、首都東京の重要な役割の一部を引き受け、にぎやかで魅力ある空間をつくることを目標に平成 12 年 5 月にまちびらきをしました。国の機関、ホテル、大型複合商業施設、業務ビルなど様々な機能の集まったまちです。